

平成30年度 大川村プロジェクト加速化の取り組み

平成30年12月17日現在

部 会	産業振興部会	プロジェクト	大川はちきん地鶏の販路拡大の取り組み	フォローアップテーマ	食鳥処理・加工施設の安定運営
-----	--------	--------	--------------------	------------	----------------

実施主体・役割分担等 【処理施設の安定運営】 ・機械、設備全般・・・大川村ふるさと村公社、村 ・人材募集等・・・大川村ふるさと村公社 ・処理工程等改善・・・大川村ふるさと村公社、三者会議(公社、本舗、村) ・支援事業提案等・・・県(計画推進課、地産地消・外商課、畜産振興課) ・衛生管理等・・・県(畜産振興課、家畜保健衛生所、福祉保健所)	H30年度末の成果目標 【食鳥処理施設の安定運営】 ・処理羽数日量400羽をロスなく無理なく安定して実施できる体制の構築 ・脱毛工程の改善 ・食鳥処理(HACCP、工場管理等)専門家の助言を踏まえた再設計、改善計画の策定 ・施設等の脆弱な部分への改善等の処置(作業機器、水の供給等)	H32年度末の成果目標(7°以外全体) 【はちきん地鶏売上高】 H28:100,000千円 → H32:237,000千円 【年間出荷羽数】 H28:62,000羽 → H32:125,000羽 【取引店舗数】 H28:県内46件、県外71件 →H32:県内110件、県外160件 【地域内の取引先数(累計)】 H28:10件 → H32:16件 【加工商材開発】 207行目(H29～H32累計) 【雇用人数】 14人(H29～H32累計)
--	---	---

月	実施計画・変更計画	実施状況	成果・課題・備考
4月	・大川村食鳥処理施設での全量羽数処理実施(4/1～)		【成果】 ・湯漬け温度、時間調整による適正化 ・内臓処理、検品の精度向上 【課題】 ・全量処理実施による作業時間の増大 ・処理工程の見直し(脱毛工程) → 改善トライアル実施するも十分改善に至らず ・脱毛工程等、設計時の実証性調査 ・処理オペレーションの改善
5月	・県内食鳥処理事業者への再委託 ・処理工程の確認及び改善 ・産振アドバイザーによるコンサルティング① ・大川村プロジェクト産業振興部会 ・食鳥処理人員配置再編成検討	・産振アドバイザーによるコンサルティング①(5/11) ・県内食鳥処理事業者への再委託(5/14～) ・大川村プロジェクト産業振興部会(5/15) ・県内食品処理事業者による現状確認(5/18) ・処理機器メーカーによる現状確認及び改善案検討(5/24) ・食鳥処理臨時職員の雇用(6/1) ・三者会議による今後の運営改善協議及び確認(6/5) ・設計・施工業者、村、公社による工程改善について協議(6/13) ・食鳥処理人員配置再編成トライアル(6/13～)	
6月	・夏期の工場内室内温度、残渣管理等の確認及び改善 ・洪水時の水源、水質等管理及び代替案検討 ・産振アドバイザーによるコンサルティング②		
7月	・産振アドバイザーによるコンサルティング③	・日量処理羽数改善トライアル(7/3～) ・水源2系統目確保(小金滝) ・施設の処理改善に向けた県内食鳥処理工場視察(7/14) ・産振アドバイザーによるコンサルティング②(7/19)	【成果】 ・水源2系統目確保による断水の解消 【課題】 ・日量処理300羽実施における作業時間の圧縮
8月	・トルクピッカー(脱毛機器)導入検討	・大川村プロジェクト産振部会に関する協議(村、県(8/2)) → 現状、課題の共有および対策、支援策提案・協議等	
9月		・処理量増加に向けた日量300羽処理を実施(8/27)	
10月	・産振アドバイザーによるコンサルティング④ ・大川村プロジェクト産業振興部会	・公社理事会(10/30) → 施設組織・管理体制、機械化等対応急務	【成果】 ・施設改修による処理環境改善(漏電) 【課題】 ・施設現場の管理者(マネージメント人材)の確保(経営・労務管理、衛生管理、オペレーション管理等) ・作業効率化に向けた機器の導入
11月	・作業効率化に向けた機器(手作業をアシスト)導入検討 ・生産性向上のための機械化およびH31年度予算の検討	・福祉保健所による食鳥処理施設検査(11/8) ・大川村プロジェクト産業振興部会(11/9) → 現状、課題の共有および対策、支援策提案・協議等 ・断熱材施工等施設の改修(11月末)	
12月	・食鳥処理技術の向上に向けた専門家導入検討	・マネージメント人材確保に向けた県からの提案(12/7)	
1月			
2月	・産振アドバイザーによるコンサルティング⑤ ・大川村プロジェクト産業振興部会		
3月			

平成30年度 大川村プロジェクト加速化の取り組み

平成30年12月17日現在

部会	産業振興部会	プロジェクト	大川はちきん地鶏の販路拡大の取り組み	フォローアップテーマ	販売の拡大
実施主体・役割分担等		H30年度末の成果目標		H32年度末の成果目標（7°以外全体）	
【県内外での販売活動】 ■営業体制の構築・・・大川村ふるさとむら公社 ・営業職人材の確保と安定した営業販売体制の構築を急務として取組む ・県内では土佐はちきん地鶏振興協議会関連企業の協力を得ながら販路開拓、販売拡大 ・むらびと本舗から引き継いだ取引先との取引を最優先するとともに、新たな流通（取引先）を開拓 ■首都圏等での販路拡大・・・大川村ふるさと村公社、高知県地産外商公社 ・地産外商公社とふるさとむら公社が連携した、新規取引先の開拓や既存の取引先の販売拡大 ・外部人材、団体等への委託による首都圏での販路拡大の加速化 ■地産地消の取り組み・・・大川村ふるさとむら公社、県（嶺北地域本部） ・地域内消費拡大に向けた営業活動、エリア内事業者との連携、イベント出店（大川村ふるさと村公社） ・大川村と関係機関のつなぎ役等（県（嶺北地域本部）） ■ふるさと納税返礼品への対応・・・大川村ふるさとむら公社、村 ・ふるさと納税に関するHP及び返礼品ラインナップの充実（村） ・関連商品の加工、返礼品用パッケージ商品の開発及び販売（大川村ふるさとむら公社）		【県内外での販売活動】 ・新規取引先件数・・・30社（県内：5社、県外25社） 【ふるさと納税に関するHP及び返礼品ラインナップの充実】 ・ふるさと納税返礼品の種類：10種類 ・ふるさと納税の件数：250件 【地域内における土佐はちきん地鶏の取扱の拡大】 ・嶺北地域内での取引件数：15件 ・嶺北地域内の飲食店舗数：8店舗 ・嶺北地域内のイベントでの取扱数：8回		【はちきん地鶏売上高】 H28:100,000千円 → H32:237,000千円 【年間出荷羽数】 H28:62,000羽 → H32:125,000羽 【取引店舗数】 H28:県内46件、県外71件 →H32:県内110件、県外160件 【地域内の取引先数（累計）】 H28:10件 → H32:16件 【加工商材開発】 207アイテム（H29～H32累計） 【雇用人数】 14人（H29～H32累計）	

月	実施計画・変更計画	実施状況	成果・課題・備考
4月	・商談会、PRイベントへの参加による認知度の向上	・むらびと本舗から販売事業引継（4/1） ・産振アドバイザーによるコンサルティング①（5/11） ・大川村プロジェクト産業振興部会（5/15） ・「土佐のお山おいしい手帳」の関係団体への配布（5/21）	【成果】 ・ふるさと納税寄付申込件数：28件 ・嶺北地域内でのイベント：3回 【課題】 ・品質の高度化、処理技術の向上 ・商談会等対応のための営業人材の確保 ・地産地消の拡大に向けた商工会等地域経済団体・事業者の協力 ・ふるさと納税広報活動
5月	・産振アドバイザーによるコンサルティング① ・大川村プロジェクト産業振興部会	・県外マネジメント会社との販売委託契約内容協議（6/8） ・おおかわバルでの提供（6/15） ・ふるさと納税ポータルサイト（ルクサ）運営開始（6/15） ・東京銀座料理店におけるはちきん地鶏イベントの開催（龍馬会（6/28）、はちきん地鶏を食べ尽くす会（6/29）） ・ふるさと納税返礼品拡充（8～10種類）（6月下旬）	
6月	・産振アドバイザーによるコンサルティング② ・東京銀座 日本料理店におけるはちきん地鶏イベント開催（6/28,29）	・商談会への参加（1回） ・バイヤー等との商談（3回（うち食鳥処理施設視察2回））	
7月	・ミニ謝肉祭（はちきん地鶏メイン）（7/14） ・産振アドバイザーによるコンサルティング③ ・過去の顧客リストの見直し、再アプローチに実施	・ミニ謝肉祭開催（はちきん地鶏メイン）（7/14） ・産振アドバイザーによるコンサルティング②（7/19） ・大川村プロジェクト産振部会に関する協議（村、県）（8/2）	【成果】 ・首都圏営業人材の雇用（1名） ・ふるさと納税寄付申込件数：32件（累計：60件） ・嶺北地域内でのイベント：1回 ・はちきん地鶏をメインとしたミニ謝肉祭初開催による地域内外へのPR ・加工品（トルネードソーセージ）商品化 【課題】 ・営業人材不在による商談会等対応の不備 ・地域関係団体・事業者の協力 ・ふるさと納税広報活動
8月	・加工品（トルネードソーセージ）商品化		
9月	・首都圏在住職員による首都圏営業活動開始 ・ふるさと納税チラシの作成	・首都圏営業人材雇用（JALからの出向者）（9/1） ・加工品（トルネードソーセージ）販売開始（9/25） ・ふるさと納税ポータルサイト（楽天、さとふる）運営開始（下旬）	
10月	・産振アドバイザーによるコンサルティング④ ・大川村プロジェクト産業振興部会 ・大川村謝肉祭（11/3）	・ふるさと納税チラシの作成、ポータルサイト内容充実 ・おおかわバルでの提供（10/12） ・土佐の豊穰祭in嶺北出店（10/14） ・海づくり大会弁当への食材採用（10/28） ・大川村謝肉祭での提供及び出展（11/3） ・大川村プロジェクト産業振興部会（11/9）	【成果】 ・ふるさと納税寄付申込み件数：63件（累計：123件）（11/30現在） ・嶺北地域内でのイベント：3回 ・新規取引先：14件（県内5社、県外9社）（4月～11月末） ・大手流通事業者との商談による販路拡大 【課題】 ・地域関係団体・事業者の協力 ・ふるさと納税広報活動
11月	・大手流通事業者商談（11/7） ・土佐町、大川村まるごと食づくLin城西館食材提供（11/17）	・土佐町、大川村まるごと食づくLin城西館食材提供（11/17） ・商談会への参加（3回） ・バイヤー等との商談（3回）	
12月	・高知県庁での出張販売（12/19）		
1月	・ふるさと納税返礼品の種類拡充 ・イベントでのふるさと納税PR		
2月	・産振アドバイザーによるコンサルティング⑤ ・大川村プロジェクト産業振興部会		
3月			

平成30年度 大川村プロジェクト加速化の取り組み

平成30年12月17日現在

部 会	観光・交流部会	プロジェクト	地域資源を活用した観光振興の推進及び交流人口の拡大	フォローアップテーマ	人材の確保・育成、旅行商品の磨き上げ
実施主体・役割分担等		H30年度末の成果目標		H32年度末の成果目標（プロジェクト全体）	
①地域おこし協力隊等の更なる積極的な募集 【公社】求人への応募につながる採用条件の見直しの検討を行う ②民間活力の導入 【村・公社】全国で自然体験プログラムを展開する企業に委託し、観光プロジェクトと合わせたプロジェクトリーダーの確保と育成を図る 【県】観光創生塾事業者支援・観光事業戦略等アドバイザー事業の活用 ③アドバイザーの助言を活かした山岳観光などの磨き上げ・商品化 【村】拠点施設（白滝の里、結いの里）を中心とした周遊ルートの検討 【公社】教育旅行・企業研修の受入 【県】観光創生塾事業者支援・観光事業戦略等アドバイザー事業の活用 ④広域で連携した商品づくり（嶺北地域、石鎚山系） 【村・石鎚協】広域登山マップの作成、登山ガイド活用方法等検討、ロングトレイル協会登録コースの本格稼働 ⑤魅力ある体験メニューの造成 【村】拠点施設（白滝の里、結いの里）を中心とした周遊ルートの検討 【公社】山岳ツアーガイドのスキルアップ研修及びイベントの企画実施、サイクリングイベントの企画立案及びイベントの実施 【県】観光創生塾事業者支援・観光事業戦略等アドバイザー事業の活用 ⑥ダム湖面を活用した体験メニューの開発 【村・公社・結いの里】結いの里を活用したカヌーやSUP体験の企画立案 ⑦旅行商品のセールス 【村・公社】旅行者に向けたモニターツアー等による商品の営業の実施		・体験プログラムの開発 2本 ・観光プロジェクトを推進するリーダーの採用（村・公社）各1名 ・白滝の里施設改修基本計画の策定		【白滝の里宿泊者数】 H32:1,800人	
月	実施計画・変更計画	実施状況	成果・課題・備考		
4月	・地域おこし協力隊の募集(2/19～随時) ・日本ロングトレイル協会加盟コースの本格稼働に向けた準備 ・大川村観光人材育成等促進事業委託契約の締結 ・村内の自然を活用した募集型体験ツアー実施(1回目)	①人材の確保・育成 ・地域おこし協力隊(処遇面見直し:報酬額166千円→180千円)の募集開始(4/1～、村HP・県移住ポータルサイトへ掲載) ・大川村観光人材育成等促進事業委託契約の締結(4/27) ・高知暮らしフェア2018への参加(6/24東京、6/30大阪)	①人材の確保・育成 【成果】 ・地域おこし協力隊応募:2名 1名は9月3日赴任。現在は役場HP改修や特産品チラシ制作に従事。SNSも活用し、情報発信を強化。もう1名は10月17日赴任。観光プロジェクトに従事。		
5月	・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催(5/16) ・石鎚山系事業(広域登山マップ作成、モニターツアー実施、登山ガイド活用方法検討等) ・大川村・高知県連携会議の開催(6/15) ・高知暮らしフェア2018への参加(6/24東京、6/30大阪)	②旅行商品の磨き上げ ・日本ロングトレイル協会の加盟コースへの登録(3/26) ・石鎚山系ルートマップ及びグレーディングを石鎚山系WEBサイトへ掲載、登山アプリで配信開始(4月～) ・大川村観光人材育成等促進事業委託契約の締結(4/27) ・白滝ふるさとまつり開催(5/3、約200名参加) ・白滝の里山歩きツアーの実施(4回開催、延べ17人参加) ・自然を活用した募集型体験ツアー(田舎暮らし体験)の実施(5/4～5/6、5名参加)	・移住検討者の来村・視察 4～11月:5名 【課題】 ・移住者に紹介できる住宅が少ない →空き家の再調査・改修 白滝の里等の活用の検討		
6月	●登山道の整備(大座礼山～大田尾、東光森山～野地峰、野地峰～黒岩山)	・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催(5/16) ・大川村・高知県連携会議の開催(6/15)	②旅行商品の磨き上げ 【課題】 ・イベントや山歩きツアー等の開催回数、参加人数が少ない →情報発信の強化及びガイドの養成が必要 ・サイクリングコースの開発		
7月	・村内の自然を活用した募集型体験ツアー実施(2回目) ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催 ・白滝の里施設改修基本計画策定委託業務契約締結 ・村内の自然を活用した募集型体験ツアー実施(3回目)	①人材の確保・育成 ・自然を活用した募集型体験ツアーにおけるOJT(7/14～7/15) ・おいでや!いな暮らしフェア～ふるさと回帰フェア2018in大阪への参加(7/28) ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催(7/31)			
8月	●拠点施設(白滝の里、結いの里)を中心とした周遊ルートの検討 ●教育旅行プログラムの開発及び企業研修の販促ツール作成に向けた検討 ●湖面を活用したカヌーやSUP体験の企画立案 ●サイクリングイベントの企画立案及びイベントの実施 ●体験プログラム等の企画・実施を通じたOJTによる人材育成 ●観光及び組織マネジメントに係るワークショップ及び先進地視察 ●公社ホームページ改訂及び情報発信の担い手育成	②旅行商品の磨き上げ ・白滝の里山歩きツアー(7/8、大雨警報発令のため中止) ・村内の自然を活用した募集型体験ツアー(親子向け田舎暮らし&自然体験)の実施(7/14～7/15、7名参加) ・ミニ謝肉祭の開催(7/14、村内10名、村外30名参加) ・四国のでっぺんモータースポーツフェスタ開催(7/28、370名参加) ・白滝子ども自然王国(8/5～8/9、児童10名参加) ・白滝の里施設改修基本計画策定委託業務契約締結(8/6) ・村内の自然を活用した募集型体験ツアー(親子で川遊び&BBQ&星空観察)の実施(9/8～9/9、悪天候のため中止) ・山歩きツアー(9/17、6名参加)			
9月		・大川村プロジェクト観光・交流部会を開催(7/31)			
10月	・村内の自然を活用した募集型体験ツアー実施(4回目) ・インバウンド関係者村内視察ツアー実施 ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催 ・大川村・高知県連携会議の開催	①人材の確保・育成 ・地域おこし協力隊1名採用(観光関係) ・高知暮らしフェアミニ(10/21横浜)への参加 ・四国暮らしフェア(10/28東京)への参加 ②旅行商品の磨き上げ ・山歩きツアー(10/8、10名参加) ・インバウンド関係者村内視察ツアー(10/13～10/14、4名参加) ・星空&三日月観望会(10/14、24名参加) ・高知シクロクロス実行委員会との村内MTBコース候補地整備(10/18) ・村内の自然を活用した募集型体験ツアー(親子で白滝鉱山トロッコ道跡遊歩道&大座礼山登山)の実施(10/27～10/28、6名参加) ・サイクリングモニターイベントの実施(11/4、18名参加) ・白滝の里施設改修基本計画検討委員会の実施(11/5) ・ワカサギ釣りイベントの実施(11/18、50名参加) ・山歩きツアー(11/23、5名参加) ・白滝の里星空観望会(12/8、曇天のため中止)			
11月	・高知暮らしフェア2018への参加(東京、大阪) ・貸出し用マウンテンバイクの購入	基本計画検討委員会①			
12月		基本計画検討委員会② ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催(10/31)			
1月	・「星空案内人養成講座」実施				
2月	・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催 ・大川村プロジェクト全体会の開催				
3月		基本計画検討委員会③			



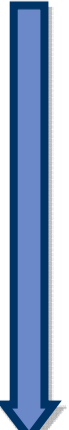
平成30年度 大川村プロジェクト加速化の取り組み

平成30年12月17日現在

部 会	生活支援部会	プロジェクト	集落活動センターにおける活動の充実と新たな人流・物流の仕組みの構築	フォローアップテーマ	集落活動センターの拠点機能の強化
実施主体・役割分担等		H30年度末の成果目標		H32年度末の成果目標（7°以外全体）	
<ul style="list-style-type: none"> ・大川村集落活動センター結いの里運営協議会・・・検討主体、実施主体 ・大川村・・・検討主体（提案）、財政的支援 ・県（中山間地域対策課、地域支援企画員）・・・助言、財政的支援 		<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設で提供する特産品を活用した新メニューの開発 ・拠点施設で扱う農作物・特産品の拡大 ・お土産品の開発 ・情報発信機能の強化 		<ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターでの新規雇用者数：2名 	
月	実施計画・変更計画		実施状況		成果・課題・備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設で提供する新メニューの検討（必要に応じアドバイザーを派遣） ・農産物・特産品の販売希望者を広報誌等で募集 		<ul style="list-style-type: none"> ・さくらまつりへの協力（4/15） ・春の宴 開催（4/21） 		【成果】 ・H29年度の実績報告・H30年度の実施計画及び取組状況を確認 ・大川ゆず塩ラーメン ほうれん草や自家製の焦がしネギを使用 ・大川バル 料理には、大川村特産のはちきん地鶏や地域の野菜、手作りの豆腐やこんにやくなどをふんだんに使用 【課題】 ・配食事業の具体化
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらまつりへの協力 ・春の宴 開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援部会（5/16） 		
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品、お土産品の検討（必要に応じアドバイザーを派遣） ・ホームページの内容充実に向けた協議 ・大川バル 月1回 開催（7月は、はちきん地鶏を主とした謝肉祭イベントを検討中） 		<ul style="list-style-type: none"> ・大川ゆず塩ラーメン提供開始（6/9） ・大川バル（6/15） ・集落活動センター総会（6/29） →配食事業を行うことの合意 		
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品を活用した新メニューの試作（必要に応じてアドバイザーを派遣） ・拠点施設での情報発信の開始 ・拠点施設を中心とした情報発信方法等の検討 配食サービス事業の検討開始 		<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ謝肉祭（7/14） 村外の方にはちきん地鶏の名前と美味しさを知ってもらい販売促進につなげる ・新たなメニュー開発 村のトマトを使用したサルサソースの冷製ラーメン 冷やし中華などを夏場のメニューとして試作中 ・新たなお土産開発 玉緑茶を使用したメレンゲ菓子 ・地域懇談会関係機関打ち合わせ（7/27） ・生活支援部会（7/31） 		【成果】 ・ミニ謝肉祭 結果最終参加人数 40名 ・配食サービスに関するアンケート 結果（確定版）（7/30）：14名程度が希望 【課題】 ・ミニ謝肉祭：広報活動、ネーミング ・商品開発等：軽食スタッフの人員不足
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービスの検討 村と結いの里 県立大の関わり ・配食スタッフ募集 ・配食試食会（8月初旬） ・配食トライアル（9月～） 		<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービスの検討 村と結いの里 県立大の関わり 		
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービスの検討 村と結いの里 県立大の関わり ・配食スタッフ募集 ・配食試食会（8月初旬） ・配食トライアル（9月～） ・貨客混載事業と連携 		<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービスの検討 村と結いの里 県立大の関わり 		
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品を活用した新メニューの提供開始 ・特産品、お土産品の試作（必要に応じアドバイザーを派遣） 配食サービス事業 ・配食希望調査の実施 ・配食運行ルート案づくり（要調整 貨客混載事業） 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域懇談会関係機関打ち合わせ2回（10月） ・今夜はしゃべらナイト☆in大川村（10/12） ・大川バル開催（10/12） ・生活支援部会（10/26） ・スイーツバイキング（10/26） ・新商品 4メニュー提供開始 8種類土産物類販売 		【成果】 ・しゃべらナイト参加者 約60名 ・大川バル参加者 約70名 ●軽食 新メニュー ・大川しょうゆラーメン・デザート[F] ・杏仁豆腐・玉緑茶のクリームブリュレ ●物販 ・玉緑茶めレンげ・400人クッキー ・はちきん地鶏レトルト食品 チキンカレー、キーマカレー、クリームシチュー ・はちきん地鶏調理済み食品 たれ漬け、チャーシュー、デミグラスハンバーグ 【課題】 ・観光・交流・生活支援の複合拠点としての態勢づくり ・人財の確保 ・収益性向上・原価管理 ・情報発信の継続
11月	<ul style="list-style-type: none"> 配食サービスのテスト開始 14人【12カ所】 ※隔週火曜日午後3時発送 		<ul style="list-style-type: none"> 配食サービスのテスト開始 14人【12カ所】 ※隔週火曜日午後3時発送 		
12月	<ul style="list-style-type: none"> 配食サービスのテスト開始 14人【12カ所】 ※隔週火曜日午後3時発送 		<ul style="list-style-type: none"> 配食サービスのテスト開始 14人【12カ所】 ※隔週火曜日午後3時発送 		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス本格実施 				
2月					
3月					

平成30年度 大川村プロジェクト加速化の取り組み

平成30年12月17日現在

部 会	生活支援部会	プロジェクト	集落活動センターにおける活動の充実と新たな人流・物流の仕組みの構築	フォローアップテーマ	新たな移動手段・物流の仕組みの構築
実施主体・役割分担等			H30年度末の成果目標		H32年度末の成果目標（プロジェクト全体）
<ul style="list-style-type: none"> ・大川村・・・検討主体、実施主体 ・貨物事業者・・・貨物運送面からの提案、協力、助言 ・路線バス事業者・・・旅客運送面からの提案、協力、助言 ・集落活動センター・・・集落活動センターの運営面からの提案、協力、助言 ・県（中山間地域対策課、交通運輸政策課、地域支援企画員）・・・事務局等 			<ul style="list-style-type: none"> ・村内を運行する新たな移動手段の整備 ・新たな移動手段による貨客混載を活用した物流サービスの構築 		<ul style="list-style-type: none"> ・新たな移動手段・物流の仕組みが確立され、住民の移動ニーズが満たされるとともに、効率的な物流サービスが提供されている。
月	実施計画・変更計画		実施状況		成果・課題・備考
4月					【成果】 ・H29年度の実績報告・H30年度の実施計画及び取組状況を確認 ・移動手段の現状を再確認、見直しの方向性を議論 【課題】 ・移動手段に関するアンケート未実施
5月			<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援部会（5/16） ・村・県担当者協議（5/28） 		
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな移動手段等の検討（運行主体・運行方法等）（5月～6月）  <ul style="list-style-type: none"> ・新たな移動手段・物流に関する村民ニーズ把握（6月～7月） 		<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービスに関する村民アンケート実施（6月中旬～下旬） ・大川村・高知県連携会議（6/15） 		
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・貨客混載の検討→（7月～10月） <p style="text-align: center;">地域座談会の開催</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・村・県担当者協議（7/18） ・庁議（7/19） 生活支援部会（移動）の取り組みについて情報共有 貨客混載の実証実験の実施、関係機関との協議、懇談会の実施、村公共交通会議、予算、車両購入、今後のスケジュール等 ・生活支援部会（7/31） 8月中旬から配食トライアル実施 貨客混載は村が集活Cへ委託する方向 ・村・県担当者協議（8/24） 地域公共交通会議の要綱、委員、資料等を協議・共有 ・補正予算可決（車両購入等）（9/7） ・村・県担当者協議（9/14） 定時定路線+配食、デマンド（+配送） 運行主体：3月末までは社協、4月以降は集活C 		【成果】 ・移動手段の具体的内容について議論（実施主体、運行形態、運行エリア、使用車両など）、配食サービスに関するアンケート結果（速報版）を共有 【課題】 ・運行主体、運行エリアの決定（→運行エリアは大川村内のみ） ・配食ルートの設定
8月					
9月	<p style="text-align: center;">補正予算（車両購入等）</p>				
10月			<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する住民意見交換会（10/12）（今夜はしゃべらナイト☆in大川） ・高知県中山間地域生活支援総合補助金交付決定（10/18） ・生活支援部会（10/26） ・地域公共交通会議設置要綱制定（11/1施行） 		【成果】 ・住民意見交換を通じ、公共交通への関心向上に一定の成果 ・第1回地域公共交通会議において、「大川村コミュニティバス」の実証運行の実施を決定 【課題】 ・コミュニティバス運行体制の確保 ・広報等による住民周知の徹底 ・利用促進策の検討 ・農産物集出荷の検討及び宅配運送の関係者間調整
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回地域公共交通会議開催（11月） 		<ul style="list-style-type: none"> ・車両購入契約（11/26） ・第1回大川村地域公共交通会議（11/26） 		
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村運営有償運送運転者講習受講（12/13） ・実証運行の村民への周知（12月） 		<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ案作成（11/26） ・12月定例議会行政報告で貨客混載事業について報告 		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・実証運行（1月～3月）〔無償運行〕 ・村全域デマンド運行（福祉バス拡充）→1/4開始 ・配食サービス+住民輸送（予約型）→1/15開始 ・第2回地域公共交通会議開催（1月下旬） （協議事項：予約型の定路線方式や料金内容について） ・自家用有償旅客運送の登録等手続き（2月～3月） 				
2月					
3月					